

発信力 傾聴力 許容力

を育む投票の考え方。

非認知能力を大きく刺激する「投票」という学び

きみの一票がまちを動かす

教育用！シティズンシップゲーム



自分の考えを持ち、他者の共感を得る「学びの機会」。

学校行事の中には、文化祭の出し物や、生徒会長選挙など、生徒自身で何かを決める機会が何度もあります。その際に、他人任せにするのではなく、他者にも共感してもらえるように自分の意見を伝えられること。そして、たとえその結果がすぐに現れなかったとしても、「自分の意見を発信・表現できた」こと自体に価値があることを学べる機会にすることで、生徒の成長に繋げることが大切です。

選挙権年齢を迎える前に身につけておきたいこと。

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、高校では主権者教育が盛んに導入されています。しかし、「シティズンシップ教育」は本来、社会をより良くするための政治参加への意義、地域活動に取り組む意欲なども含まれます。早期からの意識付けや経験が欠かせないことも多いため、小学生への「シティズンシップ教育」が重視されるようになっていきます。



異なる立場だからこそ見えてくる!

ゲーム中で行われる疑似選挙活動を通じて、「立候補者から示される政策」「市民として望むまちの未来と要望」「当落後の候補者・投票者のマインド」など、立場や意見が異なる様々な視点に触れることで「シティズンシップ」の本質を学び、その過程で非認知能力を高めることができます。

自分の考えに なぜならば で説明できる力。

「立候補者」が自分の政策や目的について、論理的に説明・説得できる表現力が必要となるのは当然ですが、「投票者」側も自身の考えをまとめたり、複数の意見の中から一つを選択したりするスキルなどが発揮できるように設計しています。

このゲームで高められる非認知能力

自己表現力 | やり抜く力 | 自己効力感

他者の意見に それもあり と受容できる力。

自分の考えと異なる意見に対しても排除せず、客観的に検討できる姿勢が求められます。これにより、落選してしまった「立候補者」も、様々な意見を傾聴する力や、受容力の向上などに繋がります。

このゲームで高められる非認知能力

傾聴力 | 他者理解 | 敬意



理想のまちづくりのための課題解決に向けて 主体的に考え、伝え、行動できる体験ゲーム

立候補者と投票者。異なる立場から市民の権利を学びます。

ゲームで身につく! ①

日々の暮らしに潜む社会課題に気づき、多面的な思考が可能に。

ゲームで身につく! ②

立場や意見の異なる他者と協働し、建設的・生産的な方向性を見出す。

ゲームで身につく! ③

主権者として、選挙などに積極的に参加する意義を理解。

ゲームで身につく! ④

民主主義における自己の効力を認識し、積極的な市民性を獲得。



シティズンシップ教育

社会・地域の構成員としての権利と義務

シティズンシップとは、単なる「市民権」ではなく、社会の一員としてより良い社会の実現のために主体的に関わろうとする意欲や行動力(市民性)を意味しています。①国や社会の一員として認められる立場を持ち、②選挙に参加する「権利」と納税やルールを守る「義務」、③地域活動など社会づくりに関わること、などが「シティズンシップ」として挙げられる市民性とされています。

小学生にとっての「シティズンシップ」教育

小学生がシティズンシップを学ぶ際には、まず「社会の一員として生きる力」を育てることを基軸とすべきです。知識の習得よりも話し合いや協力などの体験を通じて民主社会を支える市民性を育むことが大切と言えます。

小学生のうちに学ばせたい
シティズンシップ

「社会参加の基礎」づくり
地域の活動に積極的に参加

「民主主義」への理解
意見を尊重し、みんなで決める経験

「多様性」を尊重する心
意見の異なる人との協働

「責任感」と「ルール」
義務(ルール)を果たす責任感

「主権者教育」への基盤
将来の主権者教育の基礎づくり

即導入できるサポートツール付き!

教材には指導用のスライドとゲームの進行・ルール説明動画が付いているので、最小限の授業準備ですぐに指導を始められます。

サンプル動画は
こちらをチェック!
※動画はダイジェスト版です。



製造・販売元

子ども未来キャリア
株式会社イー・ラーニング研究所

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-38 F&Mビル6F
TEL:06-6339-4177 FAX:06-6339-4180

子ども未来キャリア



販売代理店